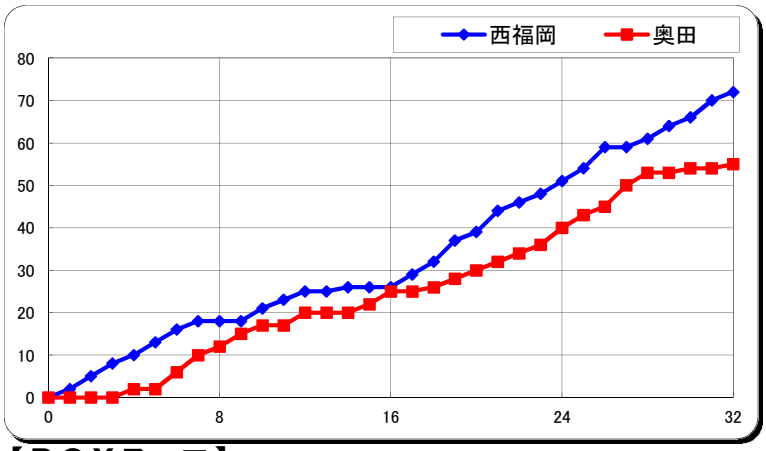
大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	さいたま市記念総合体育館
日　時	平成24年8月24日(金)　14:55
コート	Mコート　第４試合
カテゴリー	男子　決勝トーナメント　決勝
主　審	福岡　敏徳　(本部)
第１副審	二宮　隆二　(茨城)
第2副審	御手洗　亮　(大分)

Team A				Team B
西福岡	72	18 1st 12 8 2nd 13 25 3rd 15 21 4th 15 OT	55	奥田
(福岡県)				(富山県)

【得点経過】



【ＢＯＸスコア】

Team A	西福岡						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	酒井　達也	×	16	3	3	1	2
5	吉田　乙輝	×	6	0	3	0	1
6	高木　ﾄﾆｰ八十吉	×	6	0	3	0	4
7	吉川　拡人	DNP	0	0	0	0	0
8	重冨　周希	DNP	0	0	0	0	0
9	重冨　友希	DNP	0	0	0	0	0
10	大庭　椋	DNP	0	0	0	0	0
11	山﨑　純	×	8	2	1	0	1
12	永野　聖汰	DNP	0	0	0	0	0
13	牧野　圭吾	／	0	0	0	0	0
14	松脇　圭志	×	36	7	7	1	3
15	野元　啓太郎	DNP	0	0	0	0	0
16	樋口　博之	DNP	0	0	0	0	0
17	山下　龍	DNP	0	0	0	0	0
18	野口　大那	DNP	0	0	0	0	0
監督	鶴我　隆博						0
ｺｰﾁ	0						0
合　計			72	12	17	2	11

Team B	奥田						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	長友　陸矢	×	11	3	1	0	1
5	笹倉　怜寿	×	9	0	4	1	1
6	八村　塁	×	20	0	7	6	0
7	畑　知輝	×	5	1	1	0	0
8	横山　詢	DNP	0	0	0	0	0
9	川村　悠登	DNP	0	0	0	0	0
10	小柴　匡暁	DNP	0	0	0	0	0
11	杉山　佑季	DNP	0	0	0	0	0
12	飴谷　由毅	DNP	0	0	0	0	0
13	柳瀬　亮	／	5	1	1	0	1
14	高橋　龍弥	／	2	0	1	0	2
15	西頭　飛翔	×	3	0	1	1	0
16	吉田　拓生	DNP	0	0	0	0	0
17	岡山　翔太郎	／	0	0	0	0	0
18	奥野　亮	DNP	0	0	0	0	0
監督	西田　直彦						0
ｺｰﾁ	坂本　穣治						0
合　計			55	5	16	8	5

【戦　評】

男子決勝は九州代表西福岡と北信越代表奥田の対戦となった。西福岡は１－３－１ゾーンDef、奥田はハーフコートマンツーマンDefでスタートし、互いに様子を見るかのような静かな立ち上がり。均衡を破ったのは、西福岡、＃１４のスチールからのレイアップ、＃１４のミドルシュートと連続得点。得点のできない奥田はタイムアウト。奥田＃６の長身を生かしたインサイドで初の得点。その後、リズムの出てきた奥田は＃４の３Pをはじめ外角からのシュートが決まり出す。奥田の＃６の高さにてこずった西福岡は＃４、＃１１の外角シュートで得点。西福岡１８－１２奥田で１Qを終える。２Q開始早々、奥田＃４が３Pを決め、盛り上がる。西福岡は＃１４の１対１から連続３ゴール。奥田も＃６のインサイド、＃４の３Pで応戦する。その後、両チームともシュートが決まらず時間が流れ、残り１分３０秒で西福岡がタイムアウトを取るが、直後に奥田＃１３の３Pがきまり、西福岡２６－２５奥田で前半終了。

３Qに入り、西福岡の＃１４が１対１から３P３本を含む連続４ゴールで突き放しにかかる。奥田もインサイドを攻めフリースローを得るが、１本ずつしか決められず点差が徐々に開いていく。西福岡は＃４、＃１１のドライブ、３Pが決まり、３Qを西福岡５１－４０奥田で終える。４Qに入っても、西福岡＃１４の１対１からの得点は止まらない。対する奥田も＃６のインサイド＃７、＃４の３Pでついていき、残り４分で８点差まで迫るが、ここで再び西福岡＃１４の連続ゴールで引き離される。奥田はタイムアウトを取り、巻き返しを計るが、得点できず西福岡７２－５５奥田で試合終了。西福岡が卓越した個人技術と冷静な試合運びで、全国優勝の栄冠に輝いた。

【戦評記入者】　玉川　敏史

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部

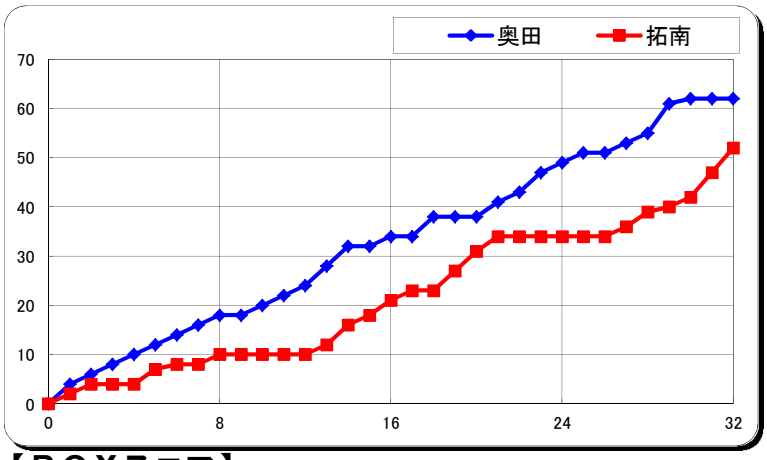
大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	さいたま市記念総合体育館
日　時	平成24年8月24日（金）　10:50
コート	Ｃコート　第２試合
カテゴリー	男子　決勝トーナメント準決勝
主　審	長谷川　裕　（神奈川）
副　審	比嘉　涼太　（沖縄）

Team A　奥田（富山県）　62

18	1st	10
16	2nd	11
15	3rd	13
13	4th	18
	OT	

52　拓南（愛媛県）　Team B

【得点経過】



【ＢＯＸスコア】

Team A　奥田

番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	長友　陸矢	×	8	0	4	0	1
5	笹倉　怜寿	×	10	0	5	0	2
6	八村　塁	×	28	0	13	2	2
7	畑　知輝	×	0	0	0	0	2
8	横山　詢	／	0	0	0	0	0
9	川村　悠登	／	0	0	0	0	0
10	小柴　匡暁	DNP	0	0	0	0	0
11	杉山　佑季	DNP	0	0	0	0	0
12	飴谷　由毅	DNP	0	0	0	0	0
13	柳瀬　亮	／	0	0	0	0	0
14	高橋　龍弥	／	7	0	3	1	0
15	西頭　飛翔	×	6	0	3	0	2
16	吉田　拓生	DNP	0	0	0	0	0
17	岡山　翔太郎	／	3	1	0	0	0
18	奥野　亮	DNP	0	0	0	0	0
監督	西田　直彦						0
コーチ	坂本　穣治						0
合　計			62	1	28	3	9

Team B　拓南

番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	富谷　覚	×	9	3	0	0	3
5	山崎　竜之介	DNP	0	0	0	0	0
6	橘　十志貴	×	2	0	1	0	1
7	武田　星太郎	DNP	0	0	0	0	0
8	高石　将一朗	×	6	0	2	2	0
9	沖田　剛	／	0	0	0	0	0
10	松尾　季風	×	6	0	2	2	1
11	苗田　将輝	×	29	2	11	1	4
12	篠浦　拓心	DNP	0	0	0	0	0
13	露口　祐輔	DNP	0	0	0	0	0
14	松本　雅樹	／	0	0	0	0	0
15	安田　兼大	DNP	0	0	0	0	0
16	時岡　風弥	DNP	0	0	0	0	0
17	片山　耕稀	DNP	0	0	0	0	0
18	大丸　智樹	DNP	0	0	0	0	0
監督	尾下　桂子						0
コーチ	坂本　和典						0
合　計			52	5	16	5	9

【戦　評】

初の決勝進出を懸けた両チーム。立ち上がり奥田は１－２－２ゾーンプレスから１－２－２ゾーン。拓南はマンツーマンＤｅｆ。奥田は長身の＃５、＃６にボールを集めＯｆｆを組み立てる。＃６はアリューブ・フックショット・ミドルシュートと大活躍。一方拓南は、＃１１のミドルシュート・３Ｐ、＃１０のポストプレイで応戦する。奥田１８－１０拓南で１Ｐ終了。２Ｑ、奥田が制空権を支配し拓南にプレッシャーをかけていく。。２分、奥田は＃４、＃５のドライブインが決まり１２点差に。ここで拓南はたまらずタイムアウト。Ｄｅｆを２－１－２ゾーンに変更するが流れは変えられず、４分、奥田＃６のポストプレイ・リバウンドシュート。５分、＃５、＃１５のドライブインが決まり、３０－１２。Ｄｅｆでもプレッシャーを強められ、拓南は勝機を見出すことが出来ず、奥田３４－２１拓南で前半を終える。

３Ｑ、拓南＃１１の１対１から始動。１分３０秒、奥田＃６のポストプレイ、＃６のリバウンドからの速攻が連続して決まり１５点差。拓南はタイムアウトを要求。直後、＃４、＃８＃１１がシュートを決め、７点差まで縮める。しかし奥田は、＃６のポストプレイを軸に落ち着いてプレイし、奥田４９－３４拓南で３Ｑ終了。４Ｑ、勢いの止まらない奥田は着実に得点を重ねる。拓南も＃１１のミドル、＃４の３Ｐで追いすがるが、焦りからミスを連発してしまい差を縮めることが出来ない。一方奥田は、パスカットからの速攻、＃６の高さを生かしたプレイで確実に加点。最終的に最後まで制空権を支配した奥田が６２－５２で決勝へと駒を進めた。しかし、最後まで諦めず、コートを走り回りひたむきにプレイした拓南の姿に拍手を送りたい。

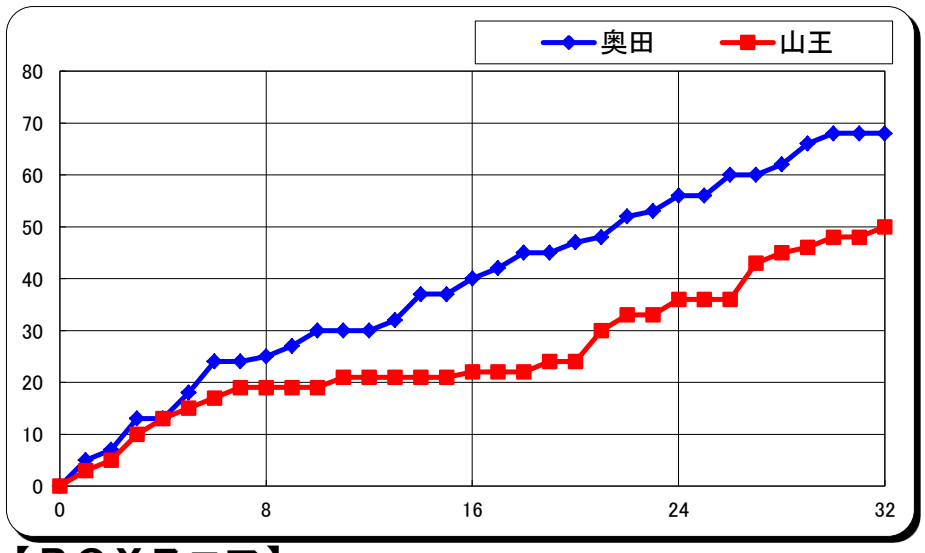
【戦評記入者】　谷口　恭史

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部

大会名	東日本大震災復興支援 平成24年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	春日部市総合体育館
日　時	平成24年8月23日（木）　16:10
コート	Ｅコート　第６試合
カテゴリー	男子　決勝トーナメント準々決勝
主　審	山崎人志　（本部）
副　審	藤代透　（東京都）

Team A					Team B
奥田	68	25 1st 19	50		山王
		15 2nd 3			
		16 3rd 14			
		12 4th 14			
（富山県）		OT			（秋田県）

【得点経過】



【ＢＯＸスコア】

Team A	奥田						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	長友　陸矢	×	11	3	1	0	1
5	笹倉　怜寿	×	19	1	6	4	1
6	八村　塁	×	10	0	5	0	1
7	畑　知輝	×	6	2	0	0	3
8	横山　詢	DNP	0	0	0	0	0
9	川村　悠登	DNP	0	0	0	0	0
10	小柴　匡暁	DNP	0	0	0	0	0
11	杉山　佑季	DNP	0	0	0	0	0
12	飴谷　由毅	DNP	0	0	0	0	0
13	柳瀬　亮	／	7	1	1	2	2
14	高橋　龍弥	／	8	2	1	0	3
15	西頭　飛翔	×	7	0	3	1	1
16	吉田　拓生	DNP	0	0	0	0	0
17	岡山　翔太郎	／	0	0	0	0	0
18	奥野　亮	DNP	0	0	0	0	0
監督	西田　直彦						0
コーチ	坂本　穣治						0
合　計			68	9	17	7	12

Team B	山王						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	成田　岳	×	14	4	1	0	3
5	鈴木　海星	×	5	0	2	1	3
6	杉本　天昇	×	20	2	4	6	1
7	渡邉　愛大	／	0	0	0	0	1
8	小野　圭介	×	2	0	0	2	5
9	伊藤　慶一郎	DNP	0	0	0	0	0
10	三浦　拓郎	DNP	0	0	0	0	0
11	川村　裕太郎	×	9	1	3	0	4
12	佐藤　聖	DNP	0	0	0	0	0
13	高木　和仁	DNP	0	0	0	0	0
14	大森　宇栄	DNP	0	0	0	0	0
15	佐藤　凪斗	DNP	0	0	0	0	0
16	長谷部　海斗	DNP	0	0	0	0	0
17	安杖　海人	DNP	0	0	0	0	0
18	古宇田　曜平	DNP	0	0	0	0	0
監督	小納　英之						0
コーチ	齊藤　徳子						0
合　計			50	7	10	9	17

【戦　評】

北信越ブロック代表の奥田（富山県）と東北ブロック代表の山王（秋田）による、ベスト４をかけた対戦。１Ｑ、奥田はオールコートマンツーマンDef、山王は、２-２-１ゾーンプレスから２-３ゾーンDefでスタート。奥田は、＃４のジャンプショットと３Ｐで先制点をとり、＃６のインサイドで確実に加点。それに対し、山王は、＃６の３Ｐ、ドライブ、＃１１の３Ｐで加点。点の取り合いとなり、２５-１９奥田リードで終了。２Ｑ、お互い譲らず、激しい攻防が続く。奥田は＃６のインサイドで加点していくと、さらに＃１３のジャンプショット。＃１４の３Ｐで点差を広げ、残り２分で、３７-２１となる。山王は、タイムアウトを取り、リズムを掴もうとするが、点差は縮まらず、４０-２２奥田リードで終了。

３Ｑ、お互いにマンツーマンでスタート。両チームともシュートが決まらず、守り合いとなる。残り３分を切ったところで、山王の＃６が３Ｐを決めるが、奥田も負けずに＃１４が３Ｐを入れ替えし、山王の追撃を許さない。５６-３６奥田リードで４Ｑを迎える。４Ｑ、山王は、オールコートマンツーマンで、奥田のミスを誘い、＃４の３Ｐ、＃６のジャンプショットで反撃し、リズムを掴むが、奥田は落ち着いて、ボールを回し、確実に加点していく。山王は、最後まで激しいディフェンスで頑張りを見せるが、力及ばす、６８-５０で、奥田が準決勝進出を決めた。

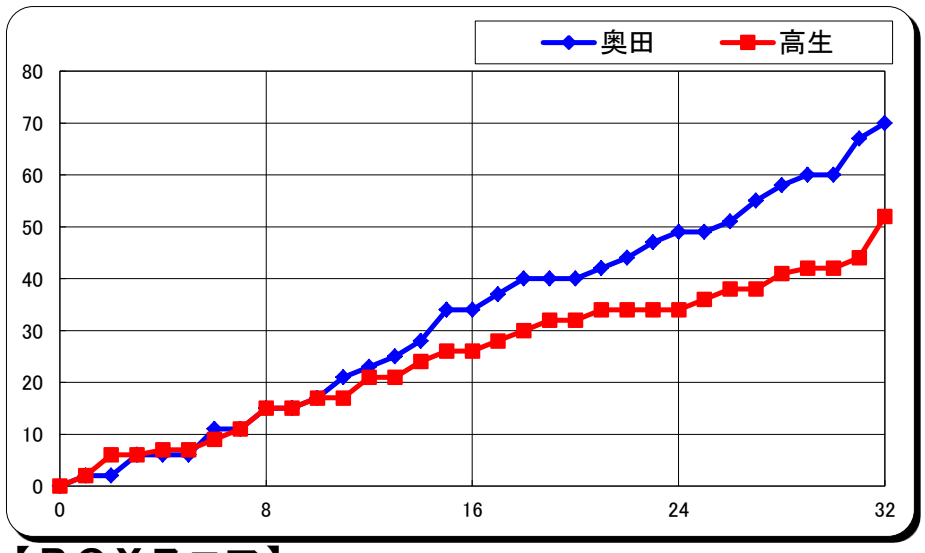
【戦評記入者】　西岡　義幸

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部

大会名	東日本大震災復興支援 平成24年度全国中学校体育大会 第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	春日部市総合体育館
日　時	平成24年8月23日（木）　12:10
コート	Ｅコート　第３試合
カテゴリー	男子　決勝トーナメント
主　審	田邊　真由美　（本部）
副　審	山岸　大輔　（埼玉県）

Team A				Team B
奥田	70	15 1st 15 19 2nd 11 15 3rd 8 21 4th 18 OT	52	高生
（富山県）				（福岡県）

【得点経過】



【ＢＯＸスコア】

Team A	奥田						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	長友　陸矢	×	4	0	2	0	2
5	笹倉　怜寿	×	21	2	7	1	2
6	八村　塁	×	24	0	11	2	4
7	畑　知輝	×	5	1	1	0	2
8	横山　詢	DNP	0	0	0	0	0
9	川村　悠登	DNP	0	0	0	0	0
10	小柴　匡暁	DNP	0	0	0	0	0
11	杉山　佑季	DNP	0	0	0	0	0
12	飴谷　由毅	DNP	0	0	0	0	0
13	柳瀬　亮	／	2	0	1	0	0
14	高橋　龍弥	／	12	0	5	2	1
15	西頭　飛翔	×	2	0	1	0	1
16	吉田　拓生	DNP	0	0	0	0	0
17	岡山　翔太郎	／	0	0	0	0	0
18	奥野　亮	DNP	0	0	0	0	0
監督	西田　直彦						0
コーチ	坂本　穣治						0
合　計			70	3	28	5	12

Team B	高生						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	安村　荘佑	×	10	1	3	1	2
5	山口　礼継	×	15	0	7	1	3
6	仁木　慎也	×	3	1	0	0	1
7	白石　敦暉	DNP	0	0	0	0	0
8	黒田　侑	DNP	0	0	0	0	0
9	江藤　航太	DNP	0	0	0	0	0
10	藤田　優輝	DNP	0	0	0	0	0
11	井上　貴文	DNP	0	0	0	0	0
12	久保田　義章	×	6	0	3	0	1
13	徳永　勇太郎	DNP	0	0	0	0	0
14	平佐　幸嗣	DNP	0	0	0	0	0
15	草野　亜怜	×	18	0	8	2	4
16	永久　翔一	DNP	0	0	0	0	0
17	中原　龍世	DNP	0	0	0	0	0
18	徳永　隼人	DNP	0	0	0	0	0
監督	山内　哲也						0
コーチ	平山　礼子						0
合　計			52	2	21	4	11

【戦　評】

予選Ａリーグ１位奥田(富山)と予選Ｇリーグ２位高生(福岡)の対戦は、１Ｑ、互いに硬さが見られアウトサイドシュートの確率が低い。高生は奥田の２－２－１プレスに対し、ダブルチームでできたノーマークを有効に利用し得点を重ねる。一方、奥田は高生のマンツーマンDefに対して、#6の高さを生かしたゴール下、セカンドショットで得点を伸ばし、互角の展開で２Ｑへ。２Ｑの立ち上がり、奥田は#6を起点にしたOff、高生はゾーンアタックを試みるがターンオーバーが続き流れを掴めない。我慢が続く中、奥田のタイムアウト後、２－３ゾーンに変えた奥田のDefに高生の1on1が機能せず、逆に奥田#6を起点にした合わせのプレーで点差が広がる。その後、マンツーマンに変化させた奥田のチェンジングDefに高生が対応できず、奥田34-26高生と８点差で前半を終える。

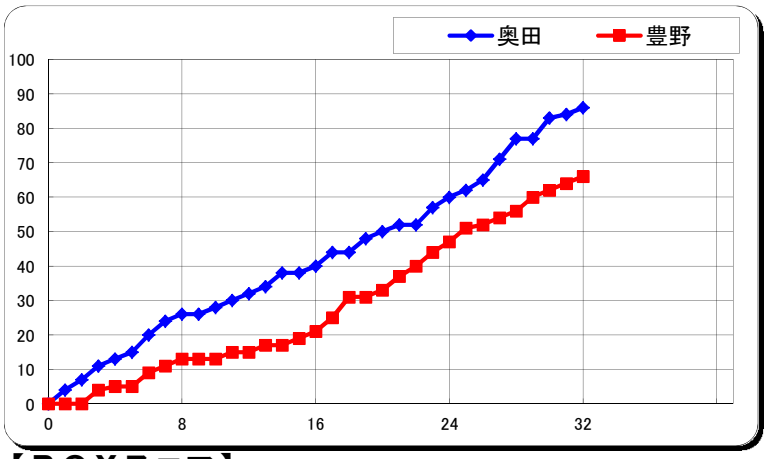
３Ｑ、奥田#5、#7の連続３Ｐで苦しい展開となった高生は#15のドライブを中心とした攻撃で応戦するも、悉くリングに嫌われる。その後、#6の安定したリバウンドからブレイクでの点数を伸ばした奥田が49-36と13点リードで４Ｑへ。２－２－１プレスから２－３ゾーンに切り替えた高生だが、奥田の２－２－１プレスに対応できずターンオーバーで相手に得点を許してしまう。その後、疲れが見え始めた両チームでDefの足が止まり、互いに得点の奪い合いとなるが、点差変わらず70-52で奥田が準々決勝進出を決めた。

【戦評記入者】　増田　義裕

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部

大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	春日部市総合体育館
日　時	平成24年8月22日（水）　15：15
コート	Ｅコート　第５試合
カテゴリー	男子　予選Aリーグ
主　審	石川　淳也　（大阪府）
副　審	森原　隆　（広島県）

【得点経過】



Team A			Team B
奥田（富山県）	86	66	豊野（埼玉県）

	Team A	Team B
1st	26	13
2nd	14	8
3rd	20	26
4th	26	19
OT		

【ＢＯＸスコア】

Team A	奥田						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	長友　陸矢	×	10	0	5	0	0
5	笹倉　怜寿	×	18	0	6	6	1
6	八村　塁	×	27	1	11	2	3
7	畑　知輝	×	3	0	1	1	0
8	横山　詢	DNP	0	0	0	0	0
9	川村　悠登	／	0	0	0	0	0
10	小柴　匡暁	DNP	0	0	0	0	0
11	杉山　佑季	DNP	0	0	0	0	0
12	飴谷　由毅	DNP	0	0	0	0	0
13	柳瀬　亮	／	0	0	0	0	0
14	高橋　龍弥	／	21	0	10	1	2
15	西頭　飛翔	×	2	0	1	0	1
16	吉田　拓生	／	0	0	0	0	0
17	岡山　翔太郎	／	5	0	2	1	2
18	奥野　亮	DNP	0	0	0	0	0
監督	西田　直彦						0
コーチ	坂本　穣治						0
合　計			86	1	36	11	9

Team B	豊野						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	新屋　広晃	×	26	2	10	0	2
5	小森　風貴	×	8	0	3	2	3
6	鈴木　皐生	×	4	0	2	0	0
7	清水　翔太	／	1	0	0	1	0
8	須田　恵哉	×	21	0	10	1	4
9	生野　翔太	／	0	0	0	0	1
10	柳澤　航	DNP	0	0	0	0	0
11	郡司　和希	／	0	0	0	0	0
12	早舩　伶	DNP	0	0	0	0	0
13	桐山　慶太	×	4	0	1	2	5
14	大塚　公平	DNP	0	0	0	0	0
15	岩井　将三	／	0	0	0	0	0
16	江田　駿介	／	2	0	1	0	0
17	中森　優哉	DNP	0	0	0	0	0
18	齋藤　昌汰	DNP	0	0	0	0	0
監督	田中　英夫						0
コーチ	小島　孝雄						0
合　計			66	2	27	6	15

【戦　評】

予選Ａリーグ１勝同士の対戦となったカード。１Ｑ、奥田は2-1-2ゾーンプレスからマンツーマン。豊野は、1-2-2ゾーンプレスから2-3ゾーンで、双方ともにコーナーでダブルチームを仕掛け、先に主導権を握ろうとする。奥田は#7を起点にダブルチームを利用し、ボールを左右に揺さぶり有効にノーマークを作り得点を重ねる。一方、プレスへの対応に苦しむ豊野は#4のジャンプシュート、ドライブインで何とか得点する。中盤、奥田の#6の高さを生かしたゴール下、1on1で豊野との点差を広げ26-13と13点差で第2Qへ。２Ｑ、豊野はマンツーマンにDefを変え、リズムを掴もうとするが#6の1on1やセカンドショットを許してしまいファールもかさむ。一方、豊野はスクリーンからのミスマッチを狙おうとするが、ボール運びに苦戦を強いられ、思うように得点ができず40-21と折り返す。

３Ｑ、豊野はマンツーマンプレスでターンオーバーを誘発し#5、#8のドライブイン、#4のアウトサイドシュートで10点差まで詰め寄る。しかし、冷静さを失わない奥田の前にあと１本詰められず、62-49で最終Ｑへ。４Ｑ、豊野は引き続きマンツーマンプレスで仕掛けるが、奥田の左右に揺さぶるゾーンアタックで、#6を起点にDefの死角から簡単にノーマークを作られてしまう。終始、冷静さを失わなかった奥田が、予選Ａリーグトップで決勝トーナメント進出を決めた。

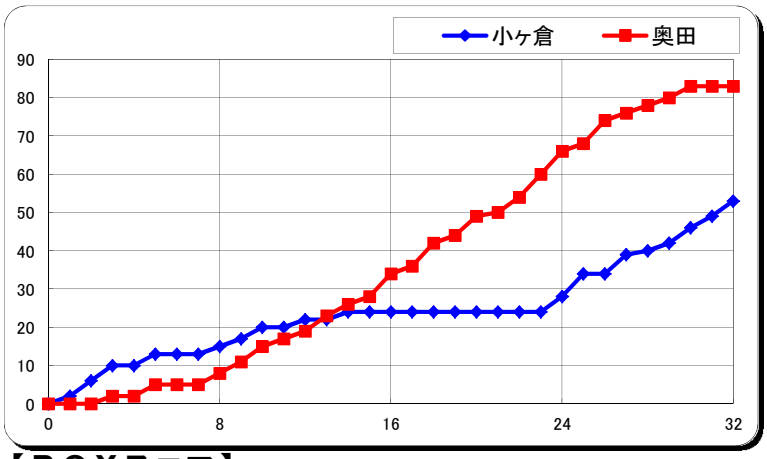
【戦評記入者】　増田　義裕

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部

大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	春日部市総合体育館
日　時	平成24年8月22日（水）　12：10
コート	Ｅコート　第３試合
カテゴリー	男子　予選Aリーグ
主　審	伊橋　隆浩　（千葉県）
副　審	分部　勝規　（山梨県）

Team A				Team B
小ヶ倉	53	15 1st 8 9 2nd 26 4 3rd 32 25 4th 17 OT	83	奥田
（長崎県）				（富山県）

【得点経過】



【ＢＯＸスコア】

Team A	小ヶ倉						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	森山　湧斗	×	11	1	4	0	2
5	松崎　颯馬	×	2	0	1	0	5
6	谷口　譲	×	0	0	0	0	2
7	福井　斗偉	×	14	2	4	0	1
8	古口　真太	／	3	1	0	0	1
9	桑原　一輝	×	11	0	4	3	2
10	岩﨑　俊弥	／	2	0	1	0	2
11	須藤　寛太	／	7	1	1	2	1
12	福井　経士朗	／	1	0	0	1	0
13	早野　兼太朗	／	2	0	1	0	0
14	谷川　海飛	／	0	0	0	0	0
15	吉田　耕祐	／	0	0	0	0	0
16	東　大樹	／	0	0	0	0	0
17	道脇　勇樹	／	0	0	0	0	0
18	長松　歩	／	0	0	0	0	0
監督	黒田　ひとみ						0
コーチ	三根　正美						0
合　計			53	5	16	6	16

Team B	奥田						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	長友　陸矢	×	5	1	1	0	0
5	笹倉　怜寿	×	19	0	9	1	4
6	八村　塁	×	11	0	4	3	2
7	畑　知輝	×	7	1	1	2	2
8	横山　詢	／	0	0	0	0	1
9	川村　悠登	／	0	0	0	0	2
10	小柴　匡暁	／	0	0	0	0	0
11	杉山　佑季	／	0	0	0	0	0
12	飴谷　由毅	／	0	0	0	0	1
13	柳瀬　亮	／	9	1	3	0	2
14	高橋　龍弥	／	6	0	2	2	3
15	西頭　飛翔	×	10	0	5	0	0
16	吉田　拓生	／	0	0	0	0	0
17	岡山　翔太郎	／	16	1	6	1	1
18	奥野　亮	／	0	0	0	0	0
監督	西田　直彦						0
コーチ	坂本　穣治						0
合　計			83	4	31	9	18

【戦　評】

予選Ａリーグ、小ヶ倉（長崎県）と奥田（富山県）の対戦。両チーム、マンツーマンDefでスタート。奥田は、長身の＃６にボールを集めて攻める。小ヶ倉は、奥田の＃６へのパスをインターセプトし速攻で点数を重ねる。小ヶ倉は、＃８の３Ｐで勢いをつけるのに対して、奥田＃１３も３Ｐで応戦。１Ｑ、１５－８で小ヶ倉がリードで終了。２Ｑ、立ち上がり小ケ倉＃９、＃１０が得点を重ねるのに対し、奥田は＃４、＃５のジャンプシュートや３Ｐで応戦する。奥田が、Defをオールコート2-1-2ゾーンプレスからのハーフコートマンツーマンディフェンスでリズムを作り、連続得点を重ね、逆転に成功する。小ヶ倉も＃７の３Ｐで応戦するが、２Ｑ、２４－３４で前半終了。

３Ｑ、奥田の＃５、＃６の連続得点で始まり、小ヶ倉はタイムアウトを取る。小ヶ倉は、Defを2-1-2ゾーンに変え、果敢にドライブで攻めるが得点に結びつかず、奥田はインターセプトからの速攻や＃７の３Ｐで差を広げる。小ヶ倉は、＃９のフリースローが入ると2-2-1ゾーンプレスDefを仕掛けて応戦するが、奥田＃１５、＃１７が得点を重ねる。２８－６６で３Ｑ終了。４Ｑ、小ヶ倉の＃７、＃１１の連続３Ｐで始まり、奥田は、速攻で＃５、＃１４が得点する。小ヶ倉は、メンバーを変え、ハーフコートマンツーマンに変更し、＃４を中心に得点を重ねるが、試合終了。５３－８３で奥田が勝利した。

【戦評記入者】　眞通　宏太郎

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部